

Fumiaki KONO and His Fellows in Sapporo

『いつか先生と札幌で一緒に…』という大きな夢が現実味を帯びたのは、河野先生が長年お勤めになった東京藝術大学を昨年3月に退任されたことがきっかけでした。

縁あって札幌で出会った私たち河野門下は、先生からの教えを礎にそれぞれの道を歩んできました。

この度は、この企画を快く引き受けてくださった先生とその弟子たちの、音楽の対話をお楽しみいただける幸いです。



©Ayane Shindo

河野 文昭 FUMIAKI KONO

小樽市生まれ。京都市立芸術大学を卒業後、文化庁在外派遣研修生としてロスアンゼルスにて、その後ウィーン国立音楽学校で研鑽を重ねる。黒沼俊夫、ガボール・ライトー、アンドレ・ナヴァラの各氏に師事。帰国後は独奏者として活躍。フィンランドの作曲家ヨナス・コッコネンのチェロ協奏曲、イタリアのルチアーノ・ベリオの無伴奏曲〈セクエンツァXIV〉などを日本初演する。また室内楽奏者としても幅広く活躍。現在、アンサンブル of トウキョウ、静岡音楽館AOI・レジデンス・クワルテット、クインテット WAM キョウトのメンバーとして演奏を重ねている。第50回日本音楽コンクール第1位。大阪文化祭賞、京都市文化功労者賞等受賞。演奏活動と共にチェロ教育も積極的に行い、1980年から非常勤講師として京都市立芸術大学、広島エリザベト音楽大学などにて、92年からは東京藝術大学教授として32年間に亘り数多くの学生を指導してきた。現在、東京藝術大学名誉教授。



©Ayane Shindo

小野木 遼 RYO ONOKI

北見市出身。東京芸術大学を経て、同大学院修士課程を修了。PMF2007に参加。第10回ビバホールチェロコンクールにて特別賞（井上賞）受賞。サントリーホール室内楽アカデミー 1.2期生。2016年にリスト音楽院セミナーにて最優秀受講生に選出され、2017年にブダペスト春の音楽祭にてリサイタルを行う。NHK「クラシック音楽館」NHK-FM「ベストオブクラシック」などメディアにも多数出演。チェロアンサンブルXTCメンバー。現在、札幌交響楽団チェロ奏者。札幌大谷大学、同高校非常勤講師。



©Erika Kusumi

中島 杏子 KYOKO NAKAJIMA

東京芸術大学器楽科チェロ専攻卒業。ケルン音楽大学アーヘン校修士課程修了。PMF2003/2004アカデミー生。2010年から、札幌を拠点に活動を開始。北海道内で主にソロ・室内楽の分野での演奏活動に加え、コンサートの主催・出演、レクチャーのほか、アウトリーチなどを行う。NHK札幌放送局主催『北の文芸館』公開収録、道銀文化財団主催『しりべしミュージアムロード・コンサート』などに出演。現在、クワルテット・ポッポ、デュオ・クレア各メンバー。エルム楽器講師、札幌大谷大学芸術学部音楽学科非常勤講師。



©K.Seki

廣狩 理栄 RIE HIROKARI

4歳よりピアノを、エリザベト音楽大学在学中よりチェロを始める。河野文昭、故黒沼俊夫の各氏に師事。蓼科音楽祭賞受賞。第2回京都フランスアカデミーにて Alain Meunier氏に師事。1992年より1年間、アフィニス海外研修員としてパリに留学。パリ・エコール・ノルマル音楽院にて室内楽を学び、上級ディプロムの試験に合格。イタリア「Accademia Musicale Chigiana」、リヨン「Musicades」等の夏期講習会に参加。広島交響楽団、関西でのフリー活動を経て、1999年より札幌交響楽団団員。R弦楽四重奏団メンバー。



道新プレイガイド
オンラインストア



平和ステージ・オフィス
予約ページ